

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成18年 4月 5日	
		作成部署	土木建築部河川整備管理室	
事業名	一級河川四ノ宮川 緊急河川整備事業	構想番号	(土・河) 構18-2	
		地区名	京都市山科区西野大手先町地内	
概算事業費	1億円	事業期間	平成18年度～平成20年度	
事業概要	事業延長 170m 護岸改修、橋梁架替3基			
関連する公共事業	なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	<p style="text-align: center;">主要な評価の視点</p>			
地球環境・自然環境	<p>地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など</p>	<p>施工地の左岸部には、松や柳が点在して植栽されており、改修工事により障害となるが、これらの現地保存に努める。</p>	<p>現地の植栽の生育状況等を調査し、移植可能なものは、移植することとし、不可能なものは、植え換え等を行う。</p>	△
生活環境	<p>水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など</p>	<p>事業実施に伴い、掘削土砂や護岸の積み石、コンクリート殻等の発生が見込まれるが、再利用可能なものについては、極力再利用を図る。</p>	<p>護岸改修にあたっては、既存の石積みの再利用を積極的に行うため、これらのストックヤードの確保を行う。また、工事実施にあたっては、低騒音型の建設機械を使用する。</p>	△
地域個性・文化環境	<p>景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など</p>	<p>事業地は本願寺山科別院前であり、石積み護岸や石橋等の落ち着いた風景が残っており、周辺の景観に配慮が必要である。</p>	<p>既存の石積みを極力利用する等、周辺環境との調和に配慮。</p>	△
地域の環境像	事業地は古くからある市街地で、落ち着いた門前町の風景を残している地域であり、石積み護岸や植栽の復元等による周辺環境への配慮が必要な地域である。			
特記事項				

※「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善○、中立△、悪化×)